

関係団体ヒアリングまとめ

1. ヒアリング概要

① 目的

添田町では、現在景観まちづくりという町民や各種団体、事業者の方々と連携して、添田町ならではの歴史や文化、自然などの景観を守り育てていく計画づくりをすすめています。景観まちづくりは、住みよいまちの形成や地域活性化、観光振興などに役立てていくため、対象者に、活動内容や景観まちづくりに対するお考え、活動する上での課題などを伺いました。

② ヒアリング項目

- 「景観まちづくり」に対して、意見・要望・期待することなど
- 活動されている中で課題だと感じていること
- 他団体との連携について
- 添田町の代表的な景観
- その他

③ 開催日時・ヒアリング対象

開催日時		ヒアリング	概要
12月7日 (水)	10:00～11:00	添田町森林組合	林業全般、樹木伐採・手入れ
	13:30～14:10	添田町商工会	経営支援・地域振興
	14:30～15:30	町三さくら会	国重要文化財中島家住宅の管理
12月13日 (火)	11:00～12:00	添田町活性化推進協議会	英彦山野営場の運営・管理
	14:00～15:00	歓遊舎ひこさん	道の駅
	15:30～17:00	添田町公園美化の会	添田公園維持管理等

④ ヒアリング結果概要

- 景観まちづくりにより、観光地としての回復を求める声が多い一方、まずは町民のためのまちづくりにしてほしいという意見もあった。
- 美しいまちにするためには、ゴミ問題や草刈りの問題解消が大きな課題。
- まちづくりは行政だけでできるものではなく、地域全体の意識を変える必要がある。
- ボランティア活動が盛んで、各地域・団体が美化や清掃などに取り組んでいるが、担い手不足により継続に不安がある。

2. ヒアリング内容まとめ

① 「景観まちづくり」に対する意見・要望・期待することなど

●観光地としての回復

- ダム周辺の紅葉などの魅力は残したい。観光としては英彦山が大事。
- JR が不通になり、BRT 化でどれほど戻ってくるのか不安。景観まちづくりなどの取り組みで、商売できる環境が回復するか非常に興味がある。
- 商売できるところが増えることを期待している。
- 添田公園・岩石山と中島家住宅をつなぐルートを作してほしい。
- 英彦山に人が来ないと歓遊舎にもお客さんが来ない。昔は観光バスも来ていたが、災害もあって観光コースから外れてしまった。また観光バスが戻ってくると嬉しい。それは英彦山が活性化されているということ。

●観光客のためのまちづくりではなく、住民のためのまちづくりを望む

- スタートとしては、住む人たちのためのまちづくりにしてほしい。観光地は、まずは地元の人たちが満足しているかどうかがあると思っている。ここに住む人たちが落ち着いて生活できていると、訪れる人たちも町の魅力を感じると思う。
- 都会にないような特徴のある町になれば良いなと思っている。

●情報発信

- 観光マップをつくっているが、民間の土地、施設を載せていない。文化財やシダレザクラ等、場所を聞かれても答えづらく、また地図にどこまで載せていいか分からなく、もどかしい思いをしている。人が集まりそうな場所が網羅された地図があると観光客に聞かれたときに答えやすい。
- 英彦山の位が高いことを知らない人が多い。もっとアピールできれば良い。
- 柚子胡椒発祥の地なので、収穫から製造まで体験できる場を設けるといいと思う。大分の方が有名になっている。

●美しいまちへ

- 歓遊舎前のゴミや、道路のゴミ対策。観光客がきて、ゴミで印象が悪くなることは避けたい。川や山がある以上災害も多く、草で道が狭まっている。獣害対策の柵の色を変えるなどをしてはどうか。町全体として景観の悪さに慣れてしまっているのではないかな。

●地域の意識改革

- まちづくりは行政だけではできない。役場だけではなく、地域の意識を変える必要があると感じている。役場には、その雰囲気づくりをしてほしい。

●道路の改善

- 山の中は、自然災害や土砂崩れなどがあって通行しにくい。もっと行きやすくなってほしい。

●空き家活用

- 時々、空き家を探している人が相談に来るが、不動産屋ではないのでアドバイスできていない。何かしたい人はいるが、「場所がない」を改善したい。場所はあるはずなので、事業が始まれば、その人は添田町に住む。「カフェをしませんか」等、具体的なアプローチをすると、やりたい人が現れるのでは？
- 町役場の空き家対策課と連携して人を紹介したり、家を紹介したりしている。なかなか最初の接点がない。
- 空き家を活用しようと持ち主に交渉しても、法外な金額を提示される。空き家の持ち主が町内に住んでおらず、実際に家を見ていないため、価値が下がっている自覚がない。廃れている感覚がないので、お金をかけてまで実家の解体・手入れをする必要性を感じていない。

② 活動している中で課題だと感じていること

●担い手不足

- 若い人が少ない。労働力不足のため、機械化する必要があるがお金がかかる。
- どこも高齢者が頑張っている。あとがない。
- 以前は河川の清掃などもしていたが、高齢化でやめていく。
- 祭りなどの実行部隊の年齢層が高く、若い人の意見が通らず形骸化している。若い人たちもやる気があるが、意見しにくい雰囲気がある。担い手不足というより、若い人たちへの継承不足。

●交通の便が悪い

- 交通の便が悪すぎる。年齢が上がって免許返上すると、子どもに頼らないと移動できないという理由で添田町を出て行ってしまう。
- 交通網が改善されないと人は来ない。

●草刈り等の維持管理

- 草刈り自体は機械で行うため早いですが、その後の処理が大変。
- 庭園の手入れについては、来訪者からもご意見を頂く。昔は手入れが出来ていて、岩石山が見えていたが、今は鬱蒼としており、岩石山が見えず、また庭らしくない。

③ 他団体との連携について

●ボランティア団体

- 添田町はボランティアが盛ん。しめ縄づくりや、グラウンドの掃除、お宮の清掃を行っている。町内の各ボランティア団体同士で、一緒に何か活動することはないが、会合をして活動内容を聞くことはある。活動範囲を広げると大変なので、それぞれの範囲で活動する方が良い。

●小学校

- 林業グループとシイタケのコマうち体験などを行っている。
- 食育の一環で、特産品を小学校へ提供することや、福岡市内の直売所に野菜を出品するなどをして、添田町のPRに努めている。

④ 添田町を代表する景観

●英彦山

- 全国で3大修験道として有名。町外の人も英彦山を大事にしているように思う。
- 津野から英彦山が真正面に見える場所。野田に登っていく途中の英彦山が真正面に見える場所が1番良い。

●花見ヶ岩の駐車場から見える景色

- そこまでの道も含めて地元が手入れをしていて美しい。しかし、ボランティアのため今後それが続けていけるかどうか心配。

●鷹巣原のススキ

- 青年の家付近のススキ場は、ススキが群を成していて綺麗。地元が草刈りをしてきている。

●田舎の原風景

- 野田の田園風景など、高いビルがないのは添田町のいいところ。田畑に太陽光が当たっていて美しく、その先に山がそびえている風景。

●岩石山からの眺望

- 田川周辺の景色がみえる。気軽な登山で良い。
- 田川方面を見ると綺麗。しかし、木が伸びて見えにくい。

●添田公園

- 添田公園がとても素晴らしい。
- 小さい滝がある。藪で見えなくなってしまった。